

平成29年度 予算審議から



一般会計・特別会計の予算特別委員会で行われた、主な質疑や意見の概要をお伝えします。
予算とは、4月から翌年3月までの行政サービスを行うための収入・支出の見積もりとその計画です。市長には予算を執行する権限がありますが、その予算を定めるためには、議会の議決が必要です。そのため、予算の審議・議決は、市議会の重要な役割です。
平成29年度の各予算は、それぞれの特別委員会での活発な議論を経て、議会最終日の本会議で原案のとおり可決され、成立しました。

一般会計

歳入全般

- 質疑**
- ①生活困窮者に対する措置は、どのようになっているのか?
 - ②地方消費税交付金の付加分の使用用途は?
 - ③ホームページバナー広告料が前年度と同額だが、算定根拠を問う。
 - ④廃棄物処理手数料において、1世帯あたりどのくらいの負担になっているのか?
 - ⑤多摩平の森産業連携センターの使用料の計上が下がった理由を問う。

衛生費・労働費

- 質疑**
- ①健康サポートルーム輝の今後の展開について問う。
 - ②猫遊妊去勢手術業務委託について、飼猫、地域猫どちらでも使用出来るのか?補助金はあるのか?
 - ③蓄犬登録システム借上料について、犬の登録件数の推移を問う。
 - ④カワセミハウスについて、平成29年度の利用見込みと、そのうち、有料・無料の割合を問う。
 - ⑤お口の健康診査事業について、対象となる方への今後の周知など、広報活動について問う。

教育費・公債費・諸支出金・予備費

- 質疑**
- ①トイレ改修が必要となる、残りの12校の改修計画を問う。
 - ②図書館経費について、本庁舎免震化とともに、市政図書室の拡張に関する費用は計上しているのか?
 - ③学童クラブの職員募集の状況を問う。
 - ④オリンピック・パラリンピック教育推進事業経費における財源の内訳を問う。
 - ⑤登校支援コーディネーター報酬の詳細を問う。

議会費・総務費

- 質疑**
- ①諸庁融合による課題を、市・企業・市民と共有していくべきではないか?
 - ②今までの職員研修業務の成果と今後の課題について問う。
 - ③市内間の転居届の推移を問う。また、他の証明と同じように、支所などで届け出が出来ないか問う。
 - ④コンビニ証明書交付サービスで、総務省から表彰を受けたが、どのような形で受賞に結び付いたのか問う。
 - ⑤大政奉還150周年記念プロジェクト経費の経緯、自治体に配布されている冊子の数、21自治体との他の連携事業について問う。
 - ⑥超過勤務は、市役所全体的にあるのか?部署によってなのか?
 - ⑦病院経営第三者委員会の進捗状況と、今後のスケジュールを問う。

農業費・商工費・土木費・消費費

- 質疑**
- ①企業立地奨励金について、平成28年度から29年度に向けての取り組み、計画について問う。
 - ②平成28年度の地域行政ポイント付与金のポイント付与者数と、29年度予算における予定付与者数について問う。
 - ③防災に関する各種訓練の考え方、反省点、今後どのように進めていくのかを問う。
 - ④公園遊具修繕計画の実施について、平成27年度・28年度の撤去数・新設数を問う。
 - ⑤みんなで川へ緑り出そう!事業について、内容が拡大されると聞いたが、その内容について問う。
 - ⑥防災マップ・洪水ハザードマップ作成事業の成果となるイメージを問う。
 - ⑦老朽化道路施設更新事業について、前倒しの計画はあるのか?
 - ⑧橋梁長寿命化事業、滝合橋の老朽化、側道の改良に関して、今後市としてどのような働きかけをしていくのか?

民生費

- 質疑**
- ①避難行動要支援者に対して、関係部署との連携に関して、どのような取り組みをしたのか?
 - ②シルバー人材センター経費について、平成29年度に追加した内容と目的について問う。
 - ③地域懇談会は、自分たちの課題解決のために、今後も進めて行く認識なのか問う。
 - ④聴覚障害者のコミュニケーション支援について、改善があったのか問う。
 - ⑤子ども医療費助成金が平成29年度は増額になっているが、人口増なのか特別な要因があるのか、理由を問う。
 - ⑥見守り支援ネットワーク事業経費の困りごととサービスの対象として検討されているのか問う。
 - ⑦民生委員を育成するための働きかけは、行っているのか問う。
 - ⑧就学援助が必要な子のいる家庭への、周知方法について問う。

総括質疑

- 質疑**
- ①厚生労働省のアレルギー対策基本指針案に対する、市の対応を問う。
 - ②行政は、安心して暮らせる雇用・処遇を保障し、納税者を増やしていくべきと考えますが、市の見解を問う。
 - ③地方消費税交付金は、どのような施策に充当されているのか?
 - ④新人事評価制度・第5次行革・2020プランの目標数値設定の現状と、平成29年度に向けた目標設定について問う。
 - ⑤広報ひのの表紙と紙面の選定方法について問う。
 - ⑥災害時の帰宅困難者の受け入れ施設を管理している各担当課の心構えについて問う。
 - ⑦合計特殊出生率を上げる即効薬というのは、何かあるのか問う。

国民健康保険特別会計

質疑

- ①糖尿病重症化予防事業について、ソーシャルインパクトボンドの導入を検討出来ないか?
- ②滞納者数は、増加しているのか?
- ③国民健康保険の加入者の増減、また過去5年分の前期高齢者の推移について問う。
- ④健康増進事業経費について、平成29年度に協会けんぽとの連携事業はあるのか?

意見

- ①糖尿病重症化予防対策のソーシャルインパクトボンド導入を検討してもらいたい(賛成)。
- ②過剰な医療はやめるべき。国に対して、市がどれだけ先進的な取り組みをするかが課題(賛成)。

市立病院事業会計

質疑

- ①特別職の給与について問う。
- ②今後の人件費について、どのような方向性を考えているのか?
- ③平成28年度の救急の受け入れ実数と応需率、平成29年度の見込みについて問う。

意見

- ①繰出金について、より理解しやすいように情報開示し、また、第三者委員会には、公立病院のあり方を審議してもらいたい(賛成)。
- ②市民を巻き込んで、わがまちの病院にしてもらいたい(賛成)。

区画整理事業特別会計

質疑

- ①保留地処分金について、詳細を問う。
- ②豊田駅南口のバス停への、ベンチ設置について問う。
- ③万願寺第二地区、東町地区の事業費ベースでの整備進捗率と、仮換地の指定率について問う。

意見

- ①進捗率が悪く、抜本的対策・見直しを条例の中で進めていくべき(反対)。
- ②地権者と相談して先の見通しを伝え、市民とともに判断していくことが必要(反対)。

介護保険特別会計

質疑

- ①利用者負担軽減事業について、平成25年度からの利用者数・事業者数について問う。
- ②介護人材の確保について、平成29年1月に実施した高齢者福祉総合計画策定に向けた基礎調査の中で、質問項目として、介護人材の年齢層・充足度についての項目はあったか?

意見

- ①データ結果に基づいて、どのような対策を立てるのか手腕が問われるところである。大いに期待する(賛成)。

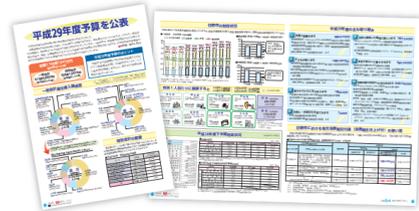
下水道事業特別会計

質疑・意見は、ありませんでした。

後期高齢者医療特別会計

質疑・意見は、ありませんでした。

解説は『広報ひの』に



平成29年度予算内容の解説は、「広報ひの」5月1日号の11ページから13ページに掲載されています。併せて、ご参照ください。

質疑・意見の詳細と答弁は会議録で

会議録の閲覧と検索

質疑や答弁などの詳細は、会議録の閲覧や会議録検索システムでご確認ください。

一般会計予算に賛成か、反対か ～各会派の総括意見(要旨)～

※無会派議員の賛否表明…賛成1人・反対1人

平成29年度
予算額 総額 **1,168億7,947万円**
(前年度比 0.4%増)

会計名	予算額	前年度比
一般会計	612億6,000万円	0.4% 減
特別会計	556億1,947万円	1.3% 増
国民健康保険	195億4,291万円	4.0% 減
土地区画整理	38億6,005万円	6.6% 減
下水道事業	50億5,029万円	3.6% 増
介護保険	129億7,274万円	11.0% 増
後期高齢者医療	39億7,830万円	5.9% 増
市立病院事業	102億1,518万円	1.2% 増

(注)金額は、各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

賛成

賛成の立場で、私たちの意見を述べます。
①第5次基本構想を評価。②地域の中心的な役割を担う自治会には財政措置も含め、しっかりと伴走を。③保育園待機児童問題は、定員を増やし、認証保育所の入所者負担の大幅減を評価。④子どもの

貧困対策は、子ども自身が貧困なのではなく社会全体が貧困だという指摘があるように、社会を組み直す事業である。全市民意識調査の実施を評価。②地域の中心的な役割を担う自治会には財政措置も含め、しっかりと伴走を。③保育園待機児童問題は、定員を増やし、認証保育所の入所者負担の大幅減を評価。④子どもの

開に期待。⑧オリンピック・パラリンピック・パラリンピックで多くの市民が関わることの出来るような事業を要望。私たちは、PDC Aサイクルで事業を評価することを求めています。基本計画だけでなく、それぞれの事務でも、PDC Aサイクルの運用を求めます。客観的な数値設定によるメリットは、大きいと思います。

賛成

日野市が直面する緊急課題、重点課題への取り組みを高く評価し、賛成の立場で意見を述べます。
①保育園待機児童対策について、定員増が図られている。引き続き、解消に向けた施策実施を要望。
②子育てしながら安心して働けるまちを目指し、総合的な子育て支援を評価。③子どもの貧困対策について、「ほっとも

ルワーカーの拡充、特別支援教育の体制強化を評価。⑤投票所への手話通訳者の配置や障害児の移動支援の時間拡充など
「の拡充、高校生への奨学金における一定要件を満たした方への全員支給など、支援策の充実を評価。④スクールソーシャルワーカーの拡充、特別支援教育の体制強化を評価。⑤投票所への手話通訳者の配置や障害児の移動支援の時間拡充など

を評価。⑥全小学校通学路への防犯カメラ設置に向けて、着実な実施を要望。⑦地域の資源を最大限生かしたシテイセールスに期待。⑧平成32年の新可燃ごみ処理施設稼働に向け、引き続き、周辺地域の方々と誠実に向き合い、着実に進めることを

賛成

平成29年度は、複雑化する市の課題、市民要望に呼応し、将来の行財政改革を見据えた適正な予算編成であると言えま。続いて、主要施策の予算措置について述べます。
①旭が丘公共施設の建て替えによって地域コミュニティや地域文化が促進されることを期待。②多摩平の森A街区に整備される認知症対策総合拠点が、認

業を展開し、将来、自立した生活を送れるよう、さまざまな支援の実施を期待。③待機児童対策は計画のさらなる積み重ねを期待し、今後もしっかりと市民要望に応えることを要望。⑥東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機としたスポーツ実施率向上

に資する取り組みの促進に期待。⑦新可燃ごみ処理施設建設工事は、地元住民の意見を引き続きしっかりと伺いながら、計画どおり着々と進めることを要望。大坪市政の4年間は、市民との信頼関係をより強固なものとしたと思います。今後も、その道を邁進していくことを期待し、賛成意見とします。

賛成

この予算に賛成の立場から、施策に沿って意見を述べます。
①市への市町村総合交付金が、過去最高の17億9,500万円の交付と発表される一方、ふるさと納税獲得競争激化の中、返礼品の充実で、平成28年度は2千106万円の収入を確保したものの、平成29年度は市外への流失見込み額は1億7千万円

固定資産税や都市計画税の減免による企業立地へのインセンティブ制度は、これからの成長産業の参入を更に加速させる。拡大を図ってきたが、今後も子育て環境を充実させ、ニューファミリーの定住を促進させることが必要。将来の少

子化対策として、なげ地誘致を、市民と行政の諸庁融合によってさらに進め、市の魅力が高まることを期待。④保育定員確保を促進させることが必要。将来の少

反対

この予算は市民の暮らしに向き合っていない。低所得者層を支える施策や、子育て世代をはじめとする中間層の負担を軽減する施策が、市政の最優先課題についてふれます。

学童クラブに正規職員配置を求める。④ミニバスへ抜本的な財政投入を求める。⑤地元業者支援のたすきに、実効性のある。また、市内の事業者や団体への補助金はカット。さらに、市民窓口業務をはじめ、保育園から児童館まで、子育て施設は軒並み民間委託で経費削減して、官費ワーキングプアを生み出そうとしています。こうした行革で生み出した財源で子どもの貧困対策を進めるべきではありません。また、このまま突き進めば、行き詰まること必至です。計画を白紙撤回し、3市の市民も含めて検討し直すことを求め、反対意見とします。

市民は、第5次行革で、子育て世代の負担を増やし、国保税やこみ袋など、低所得者の負担をも増やそうとしています。出した財源で子どもの貧困対策を進めるべきではありません。また、このまま突き進めば、行き詰まること必至です。計画を白紙撤回し、3市の市民も含めて検討し直すことを求め、反対意見とします。